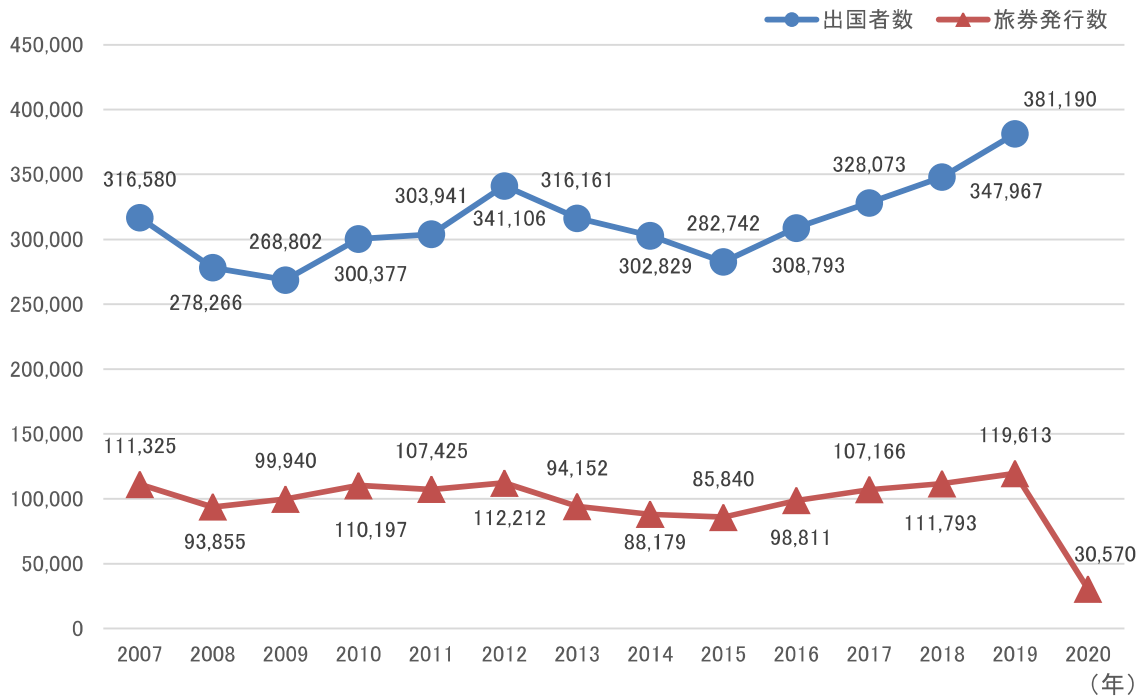


# 国際化に係るデータ

## 1. 海外渡航者の状況

### (1) 道内の年別旅券発行数と出国者数の推移



※2020年の出国者数は、2021年6月末時点で未公表

(出典: 外務省旅券統計、法務省出入国管理統計)

### (2) 道内の年代別旅券発行の状況

(上段: 発行数、下段: 割合(%))

年	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	計
2014	15,484	19,904	15,555	11,470	11,301	10,282	3,448	735	88,179
	17.6%	22.6%	17.6%	13.0%	12.8%	11.7%	3.9%	0.8%	—
2015	15,611	18,895	14,486	11,374	10,884	10,399	3,451	740	85,840
	18.2%	22.0%	16.9%	13.3%	12.7%	12.1%	4.0%	0.9%	—
2016	17,681	21,157	15,020	13,560	12,998	12,880	4,538	977	98,811
	17.9%	21.4%	15.2%	13.7%	13.2%	13.0%	4.6%	1.0%	—
2017	19,295	22,945	15,466	14,864	14,250	13,891	5,394	1,061	107,166
	18.0%	21.4%	14.4%	13.9%	13.3%	13.0%	5.0%	1.0%	—
2018	20,831	23,672	15,583	15,981	15,032	13,804	5,732	1,158	111,793
	18.6%	21.2%	13.9%	14.3%	13.4%	12.3%	5.1%	1.0%	—
2019	23,137	25,240	16,005	16,848	16,120	14,216	6,793	1,254	119,613
	19.3%	21.1%	13.4%	14.1%	13.5%	11.9%	5.7%	1.0%	—
2020	5,756	6,351	3,650	4,159	4,292	3,884	2,111	367	30,570
	18.8%	20.8%	11.9%	13.6%	14.0%	12.7%	6.9%	1.2%	—

(出典: 外務省旅券統計)

### (3) 一般旅券の発行地別有効旅券数

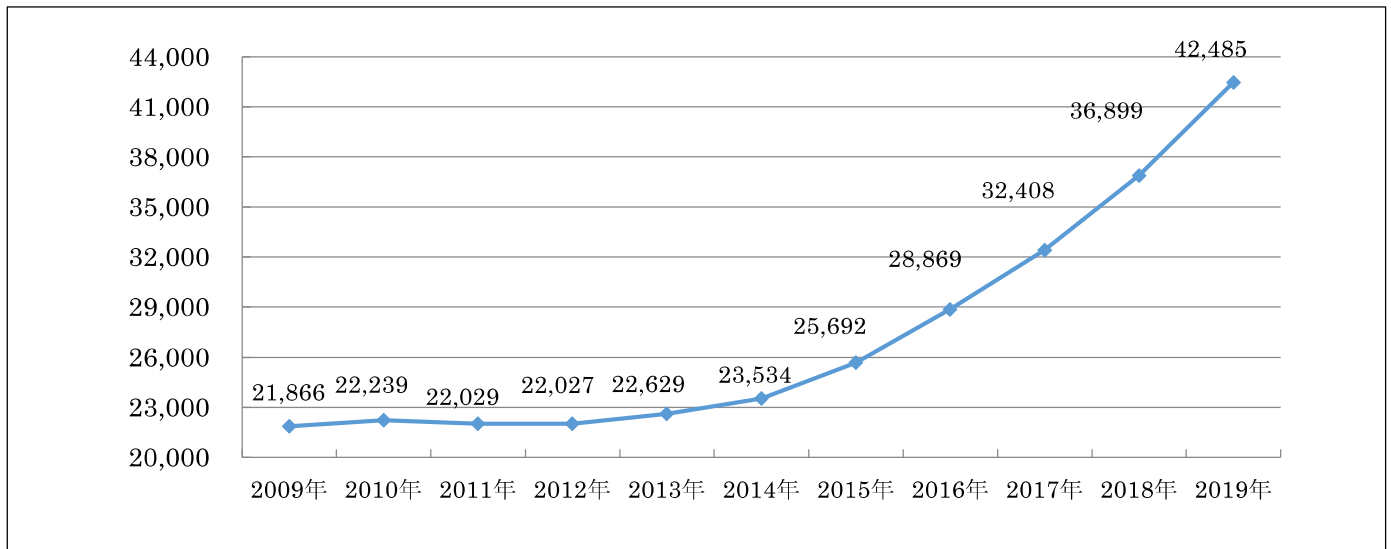
項目	北海道庁					全国(外務省・在外公館発行分は含まない)				
	10年旅券	5年旅券	計①	道内人口②	①/②	10年旅券	5年旅券	計③	全国人口④	③/④
2014	586,530	213,454	799,984	5,390,000	14.8%	23,351,309	7,487,862	30,839,171	125,562,000	24.6%
2015	579,475	207,043	786,518	5,360,000	14.7%	22,745,916	7,119,445	29,865,361	125,319,000	23.8%
2016	568,242	205,298	773,540	5,327,000	14.5%	22,324,216	7,055,538	29,379,754	125,020,000	23.5%
2017	562,189	203,011	765,200	5,292,000	14.5%	21,984,565	7,010,053	28,994,618	124,648,000	23.3%
2018	567,634	208,300	775,934	5,253,000	14.8%	21,983,345	7,220,028	29,203,373	124,218,000	23.5%
2019	572,357	218,887	791,244	5,211,000	15.2%	21,916,643	7,566,197	29,482,840	123,731,000	23.8%
2020	528,757	194,208	722,965	5,197,662	13.9%	20,227,777	6,702,288	26,930,065	123,250,000	21.8%

(出典: 外務省旅券統計、総務省人口推計、住民基本台帳人口)

## 2. 在住外国人の状況

(1) 道内の在住外国人数の推移(毎年12月末現在)

(単位: 人)



(出典: 法務省「在留外国人統計」)

(2) 国籍・地域別の内訳(毎年12月末現在、上位20カ国・地域)

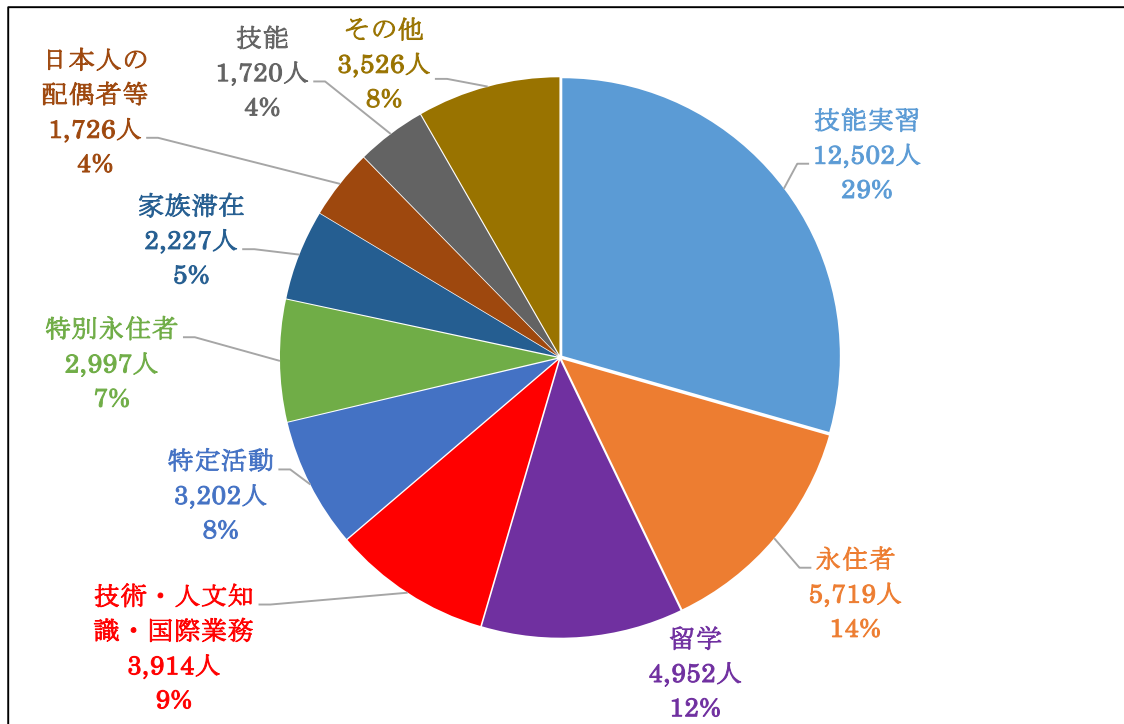
(単位: 人)

区分	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全 国	2,186,121	2,134,151	2,078,508	2,033,65	2,066,44	2,121,83	2,232,189	2,382,822	2,561,848	2,731,093	2,933,137
道 内	21,866	22,239	22,029	22,027	22,629	23,534	25,692	28,869	32,408	36,899	42,485
中 国	9,445	9,705	9,560	9,331	9,176	9,219	9,153	9,138	9,244	9,648	10,633
ベトナム	198	160	158	260	436	784	1,772	3,283	5,236	7,266	9,327
韓 国	5,359	5,294	5,226	5,148	5,080	4,848	4,190	4,213	4,354	4,507	4,564
フィリピン	1,247	1,252	1,259	1,229	1,278	1,311	1,409	1,561	1,800	1,991	2,288
台 湾				256	418	540	794	1,011	1,185	1,455	1,800
米 国	1,007	969	985	1,016	1,063	1,080	1,129	1,193	1,253	1,303	1,346
オーストラリア	473	543	556	533	595	631	760	892	925	998	1,179
英 国	327	380	358	388	487	584	720	799	831	951	991
インドネシア	213	217	217	206	221	265	283	369	514	656	945
ネパール	222	246	274	295	348	428	564	671	703	778	851
ミャンマー	29	35	37	35	35	45	45	217	359	549	796
タイ	244	276	275	283	326	412	483	553	605	665	759
インド	131	145	136	136	140	151	154	221	305	498	717
朝 鮮							699	669	645	606	570
ロシア	545	571	559	506	511	502	498	510	523	530	553
カナダ	316	304	314	294	302	340	360	404	383	459	478
モンゴル	113	124	131	129	125	146	147	196	234	266	361
フランス	99	104	89	111	120	148	185	226	267	283	343
マレーシア	155	160	156	140	157	169	171	195	231	272	316
パキスタン	86	98	108	109	136	157	206	207	232	244	287
その他	1,657	1,656	1,631	1,622	1,675	1,774	1,970	2,341	2,579	2,974	3,381

※韓国の2009年～2014年の数値には北朝鮮の数値を含む

(出典: 法務省「在留外国人統計」)

(3)在留資格別在留外国人数(2019年12月末現在)



(参考:法務省「在留外国人統計」)

(4)道内地域別在住外国人数(毎年12月末現在、市町村は、在住外国人数上位20市町村)

圏域名	振興局名	人数	市町村名	2016年	2017年	2018年	2019年
道 央 圏	空 知	1,046	札幌市	11,600	12,629	13,821	15,265
	石 狩	18,273	倶知安町	1,635	1,667	2,097	2,608
	後 志	5,087	旭川市	842	953	1,073	1,264
	胆 振	2,423	函館市	940	964	1,071	1,200
	日 高	1,039	釧路市	637	768	872	1,048
	小 計	27,868	帯広市	589	690	782	855
道 南 圏	渡 島	2,582	千歳市	535	583	708	813
	檜 山	143	苫小牧市	539	539	613	738
	小 計	2,725	江別市	448	543	618	705
道 北 圏	上 川	3,148	小樽市	564	599	633	694
	留 萌	447	ニセコ町	382	455	545	668
	宗 谷	911	占冠村	136	338	455	547
	小 計	4,506	恵庭市	286	336	426	500
オホーツク圏	オホーツク	2,494	石狩市	319	341	406	473
十 勝 圏	十 勝	2,301	北見市	366	400	466	468
釧路・根室圏	釧 路	1,629	室蘭市	364	364	396	454
	根 室	962	稚内市	331	373	365	434
	小 計	2,591	紋別市	305	342	336	426
合 計		42,485	別海町	247	269	309	396
			東川町	257	334	382	389
			そ の 他	7,547	8,921	10,525	12,540
			合 計	28,869	32,408	36,899	42,485

(参考:法務省「在留外国人統計」)

3. 道内外国人技能実習生の状況（出典：道経済部産業人材課「外国人技能実習制度に係る受入状況調査」）

(1) 技能実習生の年間受入数の推移（毎年1月1日～12月31日）

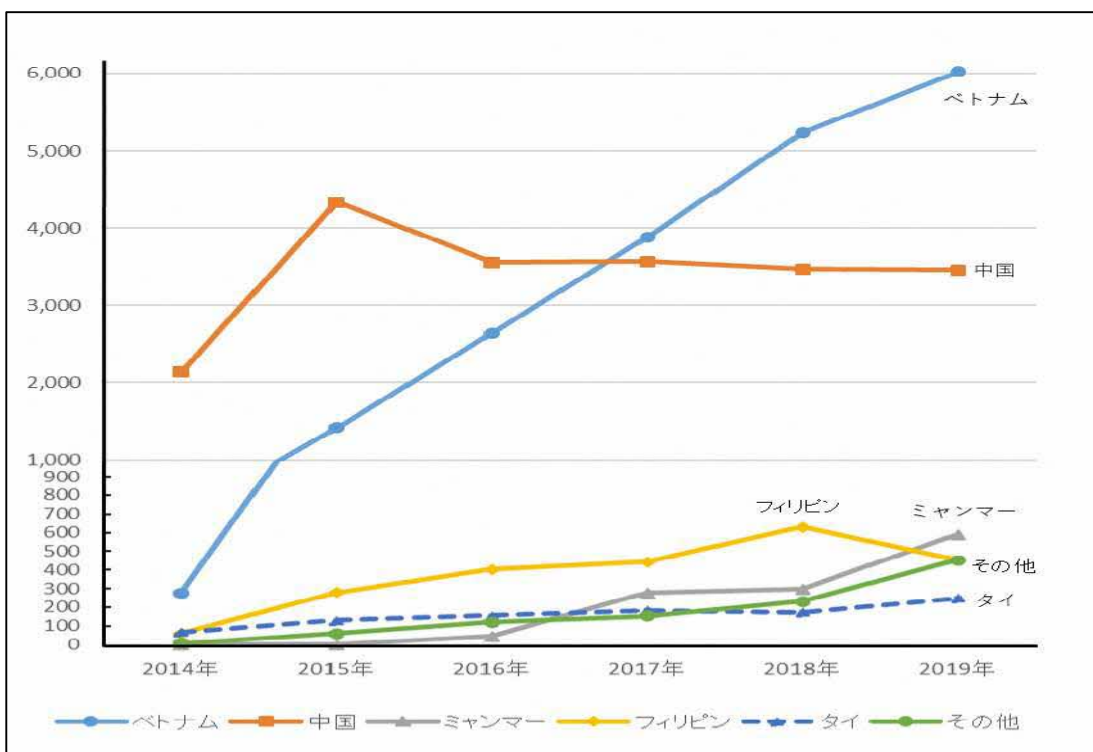
（単位：人）



(2) 国籍別受入数の推移

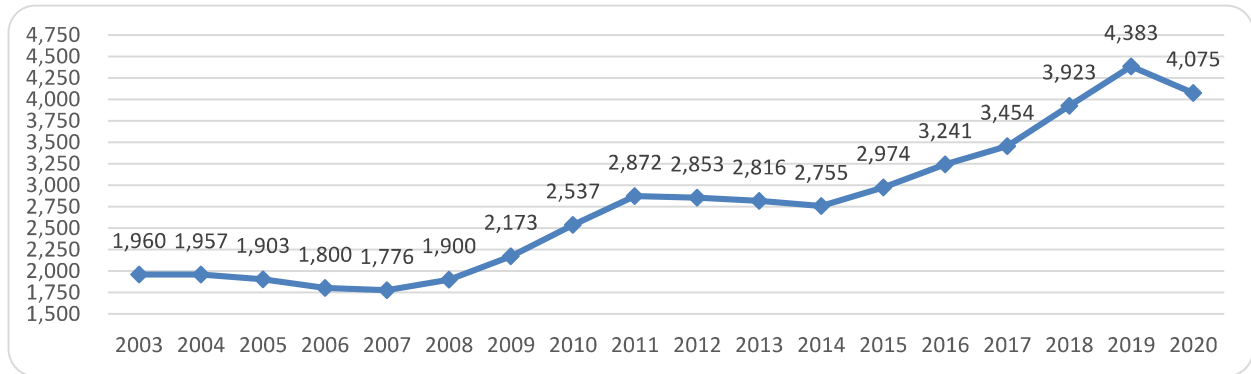
（単位：人）

区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
ベトナム	277	1,414	2,640	3,883	5,232	6,020
中国	2,142	4,332	3,554	3,563	3,471	3,454
ミャンマー	0	0	44	277	297	588
フィリピン	59	278	403	442	628	455
タイ	68	129	155	184	174	248
その他	6	59	121	153	230	453
合計	2,552	6,212	6,917	8,502	10,032	11,218



4. 道内外国人留学生の状況（出典：独立行政法人日本学生支援機構「留学生調査」）

(1) 北海道内の留学生の推移（毎年5月1日現在）



※ 在留資格制度の変更により、2011年以後の留学生数には、日本語教育機関に在籍する留学生数も含まれる。

(2) 留学生在籍学校数（毎年5月1日現在）

学種	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
大 学	30	30	29	30	29	28	27	26
短 期 大 学	2	3	3	3	3	3	3	2
高等専門学校	4	4	4	4	4	4	4	4
専 修 学 校	18	16	17	24	33	34	26	31
日本語教育機関	4	5	6	7	7	10	10	11
合 計	58	58	59	68	76	79	70	74

(3) 学校種別留学生人数（毎年5月1日現在）

学種	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
大 学	2,587	2,509	2,572	2,704	2,842	3,217	3,493	3,347
短 期 大 学	17	10	19	19	27	35	50	61
高等専門学校	24	28	32	35	35	35	33	269
専 修 学 校	58	41	102	139	251	327	310	28
日本語教育機関	130	167	249	344	299	309	497	370
合 計	2,816	2,755	2,974	3,241	3,454	3,923	4,383	4,075

(4) 国籍・地域別留学生人数（毎年5月1日現在）

国 名	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
中 国	1,584	53.3%	1,577	48.7%	1,679	48.6%	1,866	47.6%	2,114	48.2%	2,175	53.4%
ベトナム	151	5.1%	221	6.8%	237	6.9%	333	8.5%	411	9.4%	311	7.6%
韓 国	243	8.2%	249	7.7%	258	7.5%	334	8.5%	366	8.4%	272	6.7%
台 湾	131	4.4%	171	5.3%	192	5.6%	200	5.1%	235	5.4%	176	4.3%
マレーシア	84	2.8%	92	2.8%	101	2.9%	106	2.7%	108	2.5%	104	2.6%
タ イ	86	2.9%	149	4.6%	140	4.1%	158	4.0%	131	3.0%	102	2.5%
ネパール	31	1.0%	63	1.9%	57	1.7%	89	2.3%	139	3.2%	99	2.4%
インドネシア	95	3.2%	97	3.0%	97	2.8%	94	2.4%	100	2.3%	78	1.9%
モンゴル	30	1.0%	34	1.0%	49	1.4%	69	1.8%	71	1.6%	71	1.7%
バングラデシュ	46	1.5%	58	1.8%	68	2.0%	69	1.8%	68	1.6%	63	1.5%
イ ン ド	28	0.9%	30	0.9%	34	1.0%	40	1.0%	49	1.1%	51	1.3%
フィリピン	21	0.7%	28	0.9%	37	1.1%	37	0.9%	42	1.0%	48	1.2%
アメリカ合衆国	45	1.5%	58	1.8%	62	1.8%	55	1.4%	45	1.0%	40	1.0%
ロ シ ア	29	1.0%	30	0.9%	24	0.7%	28	0.7%	21	0.5%	30	0.7%
そ の 他	370	12.4%	384	11.8%	419	12.1%	445	11.3%	483	11.0%	455	11.2%
合 計	2,974	-	3,241	-	3,454	-	3,923	-	4,383	-	4,075	-

## (5) 道内における日本語教育機関(日本語学校)の所在状況

名称	所在市町村	定員(人)	法務省告示
旭川日本語学校	旭川市	80	○
旭川福祉専門学校(日本語学科)	東川町	200	○
岩谷学園ひがし北海道日本語学校	中標津町	50	○
インターナショナルアカデミー	札幌市	144	○
大原簿記公務員情報医療専門学校函館校	函館市	40	○
札幌国際日本語学院	札幌市	150	○
札幌ランゲージセンター	札幌市	300	○
創研学園看予備日本語科	札幌市	80	○
日本国際語学アカデミー・函館校	函館市	60	○
東川町立日本語学校	東川町	100	○
北海道アスクゲート日本語学校札幌本校	札幌市	80	○
北海道 HSL 日本語学校	恵庭市	40	○
北海道日本語学校札幌本校	札幌市	114	○
北海道福祉教育専門学校 専攻科日本語教育課程	室蘭市	60	○
友ランゲージアカデミー札幌校	札幌市	100	○
SIL 札幌日本語学校	札幌市	-	-
北海道ジャパニーズランゲージスクール	札幌市	-	-
JLST とかち日本語教室	帯広市	-	-
一般社団法人にほんごさぽーと北海道	帯広市	-	-

(道国際課調べ)

※日本語教育機関(日本語学校)・・・日本語の学習を主な目的として来日し滞在する外国人を対象に日本語教育を行う機関

※法務省告示・・・日本語教育機関のうち、在留資格「留学」を付与することができる機関として法務省が定めるもの

5. 教育における国際化・交流の状況

(1) 道立高等学校における外国語関連学科等の設置状況

内容	設置校	
高等学校設置基準の「外国語に関する学科」	札幌国際情報高校(国際文化科)、千歳高校(国際教養科)	
英語以外の語学授業	中国語	札幌丘珠高校、札幌白陵高校、札幌国際情報高校、札幌東商業高校、有朋高校、千歳高校、石狩翔陽高校、小樽未来創造高校、苫小牧総合経済高校、登別明日中等教育学校、旭川南高校、清水高校、白糠高校、釧路明輝高校
	韓国語	札幌丘珠高校、札幌東陵高校、札幌国際情報高校、札幌東商業高校、千歳高校、小樽未来創造高校、苫小牧総合経済高校、旭川南高校、旭川商業高校、釧路明輝高校
	ロシア語	札幌丘珠高校、札幌国際情報高校、有朋高校、石狩翔陽高校、旭川南高校、釧路明輝高校、根室高校
	フランス語	札幌国際情報高校、釧路明輝高校

(道教育庁高校教育課調べ)

(2) 道内における外国青年招致事業(JETプログラム)によるCIR・ALT・SEAの配置状況

区分		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
北海道	国際交流員(CIR)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
	外国語指導助手(ALT)	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62
	小計	65	65	65	65	65	65	65	65	65	66	66
札幌市	国際交流員(CIR)	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7
	外国語指導助手(ALT)	35	35	35	35	36	35	35	35	35	35	35
	小計	40	40	40	40	42	41	42	42	42	42	42
市町村 (札幌市を除く)	国際交流員(CIR)	11	14	18	20	24	24	21	23	23	25	33
	外国語指導助手(ALT)	182	186	190	188	189	187	156	165	187	199	218
	スポーツ国際交流員(SEA)	-	-	-	-	1	2	2	4	3	4	5
	小計	193	200	208	208	214	213	179	198	213	228	256
私立 高校	外国語指導助手(ALT)	-	-	-	-	-	-	4	6	7	6	6
	小計	-	-	-	-	-	-	4	6	7	6	6
合計	国際交流員(CIR)	19	22	26	28	33	33	31	33	33	36	44
	外国語指導助手(ALT)	279	283	287	285	287	284	257	268	291	302	321
	スポーツ国際交流員(SEA)	-	-	-	-	1	2	2	4	3	4	5
	計	298	305	313	313	321	319	290	305	327	342	370

(道国際課調べ)

## 6. 在住外国人支援の状況

(1) 市町村における在住外国人への支援状況(2020年12月末日現在)

支援内容	実施市町村数
外国語版ホームページ開設	114
外国語版広報誌の作成	4
外国語版パンフレットの作成	104
生活に関連するガイドブック作成	33
通訳ボランティアの登録制度	9

支援内容	実施市町村数
外国人からの相談体制	46
(うち外国人相談員の設置)	(17)
日本語学習支援	17
文化施設の無料開放	18
在住外国人との交流イベント	29

(道国際課調べ)

(2) 外国人児童・生徒等教育施設

学校名	設置名	所在地	電話
北海道朝鮮初中高級学校	学校法人北海道朝鮮学園	004-0874 札幌市清田区平岡4条2丁目6-1	011-881-3972
北海道インターナショナルスクール	学校法人北海道インターナショナルスクール	062-0935 札幌市豊平区平岸5条19丁目1-55	011-816-5000
北海道インターナショナルスクール・ニセコ校	学校法人北海道インターナショナルスクール	048-1501 虻田郡ニセコ町字富士見12	0136-55-5252

(道学事課調べ)

(3) 道内における日本語教室設置状況

(2020年12月現在)

市町村	名称	所在地/連絡先	設置者	運営者	開催頻度と料金	定員
芦別市	ベトナム人技能実習生への日本語講座	〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 TEL: 0124-27-7065 E-mail: kouhou@city.ashibetsu.hokkaido.jp	芦別市国際交流協会	同左	来日から平日の10日間 13:00から17:00 無料	なし
深川市	日本語教室	〒074-8650 深川市2条17番17号 TEL: 0164-26-2246 E-mail: kikaku@city.fukagawa.jp	深川国際交流協会	同左	毎週木曜日	-
妹背牛町	日本語勉強会	妹背牛町民会館 〒079-0501 雨竜郡妹背牛町字妹背牛247-2 TEL: 0164-32-2081	妹背牛町	同左	月2回程度 9:00~ 無料	なし
札幌市	うるかむはうす日本語教室	うるかむはうす 〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 札幌教区カトリックセンター 2階	うるかむはうす	同左	火曜日・金曜日 10:30~12:00 それ以外の時間は相談 ¥1,000 週1回/月 ¥2,000 週2回/月	なし
札幌市	「さくらの木」日本語ボランティア	札幌市生涯学習センター(ちえりあ) 2階サークル活動室(Jim's Englishの部屋) 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目	「さくらの木」日本語ボランティア	同左	月曜日 15:00~17:00 (第2月曜休み) 無料	なし
札幌市	札幌日本語クラブS.N.C	札幌エルプラザ 〒060-0808 札幌市北区8条西3丁目 TEL 011-386-0453、011-643-7612 E-mail: snc.nihongo@gmail.com http://kremerbreloque.wix.com/snc-nihongo	札幌日本語クラブS.N.C	同左	毎週水曜日 10:00~11:30 1,000円/月 (会場費・運営費)+教科書代	なし
札幌市	日本語クラス「たんぽぽ」	札幌エルプラザ 〒060-0808 札幌市北区8条西3丁目 E-mail: tanpoaponihongo@gmail.com http://tanpoaponihongo.blogspot.jp/	日本語ボランティア「たんぽぽ」	同左	金曜日 10:30~12:00(初級Ⅰ) 12:30~14:00(初級Ⅱ) 14:30~16:00(中級Ⅰ、Ⅱ) 春コース、秋コースは各クラス 12回で2,500円(テキスト代含む) 冬コースは6回で1,200円	なし
札幌市	日本語教室「空」	道立市民活動促進センター8F 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 8F TEL: 011-709-7565	日本語教室「空」	同左	火曜日 10:00~12:00 木曜日 10:00~12:00 火曜・木曜日ともに 初級Ⅰ・Ⅱ、中級コース (各テキスト使用) 1,000円/月	なし
札幌市	学ばん会	札幌留学生交流センター2階 会議室 〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条6丁目 TEL: 070-6607-3288 HP: https://mado-sapporo.wixsite.com/mado	日本語ボランティア「窓」	同左	火・木・土 13:00~17:00 無料	なし
札幌市	H.I.W.A日本語教室「まなぶ」	道立市民活動促進センター8F 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 8F TEL: 090-7510-3421 Email: 448konzert@peter.mar@ezweb.ne.jp	北海道国際女性協会HIWA	同左	水曜日 10:30~12:00(初級、中級、上級) 13:00~14:30(入門、初級、中級) 無料	なし



市町村	名称	所在地/連絡先	設置者	運営者	開催頻度と料金	定員
札幌市	JWORKS 日本語フリーレッスン&おしゃべりタイム	札幌エルプラザ 〒060-0808 札幌市北区8条西3丁目 TEL: 090-2871-1537 / 090-9750-2788	JWORKS	同左	土曜日13:30~15:00(毎月2回) 無料	なし
札幌市	にほんごサークル STEP・J!	札幌市社会福祉総合センター3階 〒060-0061 札幌市中央区大通西19丁目1-1 E-mail: sapporostepj@gmail.com HP: http://sapporostepj.wix.com/stepj	にほんごサークル STEP・J!	同左	月曜日 18:30~20:00 レベル 初級1~4、中級 200円/回	なし
札幌市	NPO法人エスニコ「日本語サロン」	〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目6-2 S ITYビル7F-B エスニコ事務所 Tel: 011-211-0105 E-mail: s25@ngos25.org https://www.ngos25.org	NPO法人エスニコ	同左	ホームページに記載&面談の上、日程相談 1レッスン1時間200円	各回4名 まで
江別市	にほんご教室	〒069-0824 江別市東野幌本町6-43 市民交流 施設ふらつと内 TEL: 011-381-1111 E-mail: info@ebetsu-iec.org	江別市国際交流推進 協議会	同左	○各クラス1,000円/月 (テキスト代別) ・初中級クラス(N4~N3程度) 18:30~20:30(毎週 火曜日) ・初級クラス 14:00~16:00(毎週木曜日) ・会話クラス 10:00~11:30(毎週日曜日)	各15名
石狩市	日本語教室	〒061-3216 石狩市花川北6条1丁目42番地 石 狩市公民館内 TEL: 0133-62-9200 E-mail: jia@dream.ocn.ne.jp	NPO法人石狩国際交 流協会	同左	週2回(火、木) 14:00-16:00/9:30~11:30	各4名
小樽市	日本語教室	〒047-0261 小樽市銭函2-2-3 TEL: 090-3776-9438 E-mail: fvms1588@nifty.com	ONSA(小樽日本語サ ポートクラブ)	同左	毎週水曜日 10:00-11:30 無料	20名
二セコ町	Beginner Japanese Part1	〒048-1595 虻田郡二セコ町字富士見47番地 0136-44-2121 kokusai@town.niseko.lg.jp	二セコ町 国際交流推進協議会	同左	週1回(火) 10:00~、無料	なし
二セコ町	Beginner Japanese Part2	〒048-1595 虻田郡二セコ町字富士見47番地 0136-44-2121 kokusai@town.niseko.lg.jp	二セコ町 国際交流推進協議会	同左	週1回(水) 10:00~、無料	なし
倶知安町	SMILE NISEKO ランゲージスクール	虻田郡倶知安町北1条東1丁目2番地	民間事業者			
倶知安町	Towns Language Service	〒048-1522 虻田郡二セコ町字曾我455-23	谷口 真帆	同左	下記HPのとおり http://towns-language-service-1.jimdosite.com/	
苫小牧市	日本語教室	〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 苫小牧 市役所7階 TEL: 0144-32-6157(国際交流担当) E-mail: resort@city.tomakomai.hokkaido.jp	苫小牧市	同左	無料 ボランティア講師と外国人生徒のスケジュール調整 により開催頻度は異なる	なし
函館市	函館市日本語教室	函館市青年センター 〒040-0013 函館市千代台町27番5号 E-mail: keivivace@nifty.com	函館市	函館日本語教 育研究会(JT S)	9月~3月(無料) 水曜日: 18:45-20:00(入門・初級Ⅱ) 木曜日: 9:45-11:00(読み書き初級) : 11:15-12:30(入門・初級Ⅰ) : 18:45-20:00(初級Ⅰ) 日曜日: 13:30-14:45(初級Ⅰ)	各4名 水曜日の み15名 コロナによ り人数制限 有
函館市	日本語サロン	函館市青年センター 〒040-0013 函館市千代台町27番5号 E-mail: keivivace@nifty.com または オンライン	函館日本語教育研 究会(JTS)	函館日本語教 育研究会(JT S)	毎週土曜日10:30-12:15 参加無料	なし
旭川市	外国人のための日本語教室	〒070-0031 旭川市1条通8丁目フィール旭川7階 TEL: 0166-25-7491 E-mail: aic1_kokusai@city.asahikawa.lg.jp	旭川市	旭川市国際交 流委員会	初級クラス、中級クラスともに月2回(隔週日曜) 10:30-12:00、3,000円(全8回) ※留学生、生活保護受給世帯は無料	各10名
紋別市	日本語講座 初級・中級・N4・N3・N2	〒094-0005 紋別市幸町3丁目1-12 まちなか芸 術館内 TEL: 0158-28-6388(国際交流サロン担当) E-mail: salon@city.mombetsu.lg.jp	紋別市	同左	毎年5月~6月、10月~11月 週1回(日) 無料 13:00-14:30、14:45-16:15	なし
帯広市	JLSTとかち日本語教室	〒080-0018 帯広市西8条南7丁目1番地13 TEL: 0155-22-1211 E-mail: jls.tokachi@gmail.com	JLST株式会社	同左	下記HPのとおり https://www.jls-tokachi.com/system/	左記HP のとおり
帯広市	日本語教室 初級1・初級2	〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 TEL: 0155-65-4133 E-mail: international@city.obihiro.hokkaido.jp	十勝インターナシ ョナル協会	同左	毎年5月~7月頃 毎年10月~12月頃 週1回(水)各10回 18:30-20:00 無料	各10名
帯広市	日本語教室 テーブル形式	〒080-2480 帯広市西20条南6丁目1-2 TEL: 0155-34-0122 E-mail: tiro@city.obihiro.hokkaido.jp	十勝インターナシ ョナル協会	同左	毎月第2・4土曜日 16:00-18:00 無料	なし
釧路市	日本語サポート	〒085-0017 釧路市幸町3-3 釧路観光国際交流センター2F くしろ国際交流プラザ内 TEL: 0154-65-6712 E-mail: info@kushiro-vista.com https://www.kushiro-vista.com/	釧路国際交流の会	同左	月2回(日曜日) 10:00~13:00 無料	
釧路市	グリーンヒル英会話教室	〒085-0814 釧路市緑ヶ岡2-32-30 TEL: 0154-64-5988 E-mail: english@greenhill.rer.jp http://greenhill.rer.jp/	グリーンヒル英会話 教室	同左	土曜日 中級クラス 8:00から60分間 初級クラス 9:00から60分間 月4回(週1回) 4,000円	
釧路市	日本語教室	〒085-0813 釧路市春採7-37-8 TEL: 090-9759-9634	上林 佳子	同左	土曜日・日曜日どちらから週1回90分 1回につき2,000円	

※日本語教室:長期・短期滞在を問わず、在住外国人に対して学習指導を行うもの。NPO やボランティアが行うもの、不定期のものを含む。

(道国際課調べ)

## (4)道内の外国人向け相談窓口設置状況

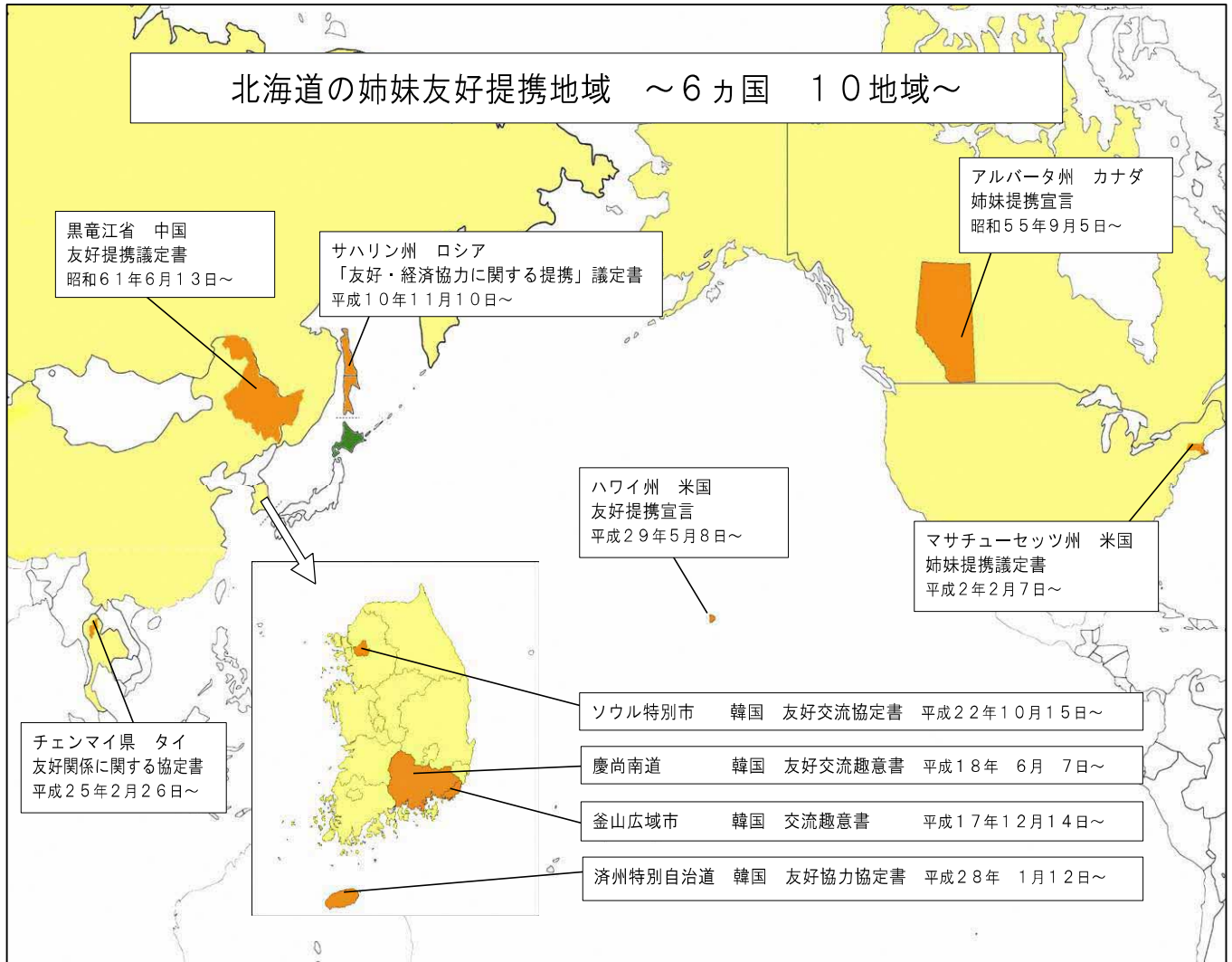
(2021年4月1日現在)

内容	機関名称	所在地	TEL	備考・対応言語等
外国人からの相談全般	北海道外国人相談センター	札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館12階	011-200-9595	日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語(曜日別)
外国人からの相談全般	さっぽろ外国人相談窓口	札幌市中央区北1条西3丁目 札幌Mビル3階 公益財団法人札幌国際プラザ内	011-211-3678	やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語(曜日別) (電話通訳サービスで上記以外の言語にも対応)
在留手続 資格外活動許可	札幌出入国在留管理局	札幌市中央区大通り西12丁目 札幌第3合同庁舎	011-261-9658	
	函館出張所	函館市海岸町24-4 函館港湾合同庁舎	0138-41-6922	
	旭川出張所	旭川市宮前1条3-3-15 旭川合同庁舎	0166-38-6755	
	釧路港出張所	釧路市南浜町5-9 釧路港湾合同庁舎	0154-22-2430	
	稚内港出張所	稚内市開運2-2-1 稚内港湾合同庁舎	0162-23-3269	
	千歳苫小牧出張所 苫小牧分室	苫小牧市港町1-6-15 苫小牧港湾合同庁舎	0144-32-9012	
手続き書類の作成 ・提出代行	北海道行政書士会	札幌市中央区北1条西10丁目1-6 北海道行政書士会館	011-221-1221	
国籍変更(帰化)	各地方務局			
	札幌法務局	札幌市北区北8条西2丁目1番1 札幌第1合同庁舎	011-709-2311	事前予約が必要
	函館地方務局	函館市新川町25番18号 函館地方合同庁舎	0138-23-9526	事前予約が必要
	旭川地方務局	旭川市宮前1条3丁目3番15号 旭川合同庁舎	0166-38-1111	事前予約が必要
	釧路地方務局	釧路市幸町10丁目3 釧路合同庁舎	0154-31-5015	事前予約が必要
求職相談	ハローワークプラザ札幌			
	外国人雇用サービスコーナー	札幌市中央区北4条西5丁目 大樹生命札幌共同ビル5階	011-200-9923	英語、中国語、韓国語の 通訳あり(曜日別)
	留学生コーナー	札幌市中央区北4条西5丁目 大樹生命札幌共同ビル9階 札幌新卒応援ハローワーク内	011-233-0222	
労働相談	外国人労働者相談コーナー			
	北海道労働局労働基準部監督課	札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎9階	011-709-2311/ 0570-001-706	ベトナム語(月曜日)
	函館署	函館市新川町25番18号 函館地方合同庁舎	0138-87-7605	中国語(火曜日)
	釧路署	釧路市柏木町2-12	0154-42-9716	英語、タガログ語(金曜日)
技能実習に関する相談	外国人技能実習機構 札幌事務所	札幌市中央区北4条東2-8-2 マルイト北4条ビル5階	011-596-6470	
法律相談	外国人法律支援ネットワーク	担当弁護士の法律事務所の所在地	011-204-9535	予約制・原則日本語対応 (英語、中国語対応は要相談)
外国語の対応可能な医療機関	北海道保健福祉部医療業務課	<a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/iry/imu/gaikokugotaiou.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/iry/imu/gaikokugotaiou.htm</a>		英語、中国語、韓国語、ロシア語

(道国際課調べ)

## 7. 道内自治体の姉妹友好交流の状況

### (1) 北海道の姉妹友好交流



### 2020年度の交流事業

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2020年度事業内容 (道国際課所管事業)
中国	黒竜江省 (1986年6月13日)	<p>北海道と中国との交流は、民間団体を中心に友好親善が図られてきたが、日中国交正常化や日中平和友好条約の締結、中華人民共和国駐札幌総領事館の開設を背景に、農業などの技術交流が盛んになった。</p> <p>1980年には黒竜江省外事弁公室副主任が来道し、友好提携についての提案があったほか、同年11月には胡耀邦総書記が来道し、交流の気運が一層高まった。</p> <p>北海道としては、自然条件や産業形態が類似しており、かつ、民間団体との交流実績がある中国東北地域の黒竜江省と交流を進めていくこととし、1984年9月、中日友好協会の招きで、北海道知事、北海道議会議長が訪中し、黒竜江省を訪問した際、道と省との間で技術交流を進めることに合意した。</p> <p>以来、一次産業の試験研究機関の研究者・技術者の相互派遣や共同研究、日本語教師の派遣など交流を積み重ねてきた。</p> <p>今後とも両地域の永続的な交流を進めるため、友好提携を行うこととし、1986年6月13日、札幌市で友好提携調印式を行った。</p>	<p>■黒竜江省との交流の紹介(2021年3月)</p> <p>チ・カ・ホで開催された「北海道国際交流フェア」会場内において、黒竜江省の概要や交流内容を紹介するパネル展を実施。黒竜江省について広く道民に周知するとともに黒竜江省の食などについても紹介し、更なる交流促進をPRした。</p> <p>■黒竜江省外事弁公室とのウェブ会議</p> <p>【第一回会議(2020年6月)】</p> <p>道国際課は、国際経済室とともに、黒竜江省北東アジア処との間で、新型コロナウイルスの感染状況、2020年度の交流事業の見通しなどについて意見交換を実施。</p> <p>【第二回会議(2021年3月)】</p> <p>道国際課は、国際経済室とともに、黒竜江省北東アジア処との間で、姉妹友好提携35周年となる2021年の交流事業の見通しなどについて意見交換を実施。</p> <p>【総合政策部長と黒竜江省外事弁公室主任との会談(2020年7月)】</p> <p>道総合政策部長と黒竜江省外事弁公室主任との間で、オンライン会談を実施。2021年の35周年記念事業など、今後の交流について意見交換を実施。</p>

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2020年度事業内容 (道国際課所管事業)
韓国	釜山広域市 (2005年12月14日)	東アジア地域の著しい経済発展、韓国との関係の密接化を踏まえ、「日韓友情年」に当たる2005年より、韓国第2の都市「釜山広域市」との交流を開始。 釜山港と北海道の4つの港が定期コンテナ船航路で結ばれているなど、もともと両地域は深いつながりを有しており、韓国における南の地域と日本における北の地域というそれぞれの地域の特徴を活かした交流を進めることにより、双方の活性化と発展につながるとの考えで合意。 2005年12月13日～15日、北海道知事をはじめとする訪問団が釜山広域市を訪れ、交流趣意書に調印。	<p>■友好提携15周年記念メッセージ交流事業(2020年10月)</p> <p>釜山広域市との友好提携15周年を記念し、北海道札幌東陵高等学校で韓国語を学ぶ生徒に、新型コロナウイルス対策に取り組む釜山市民への応援や、釜山に対する関心や想いなどのメッセージを書いてもらうとともに、国際交流員が釜山を紹介するセミナーを実施し、更なる交流促進を図った。</p> <p>■釜山DAY(2021年3月)</p> <p>チ・カ・ホで開催された「北海道国際交流フェア」会場内において、釜山の概要や交流内容を紹介するパネル展を実施。また、北海道札幌東陵高等学校の生徒が書いた釜山市民に対するメッセージ作品も併せて展示。釜山について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPRした。</p>
	慶尚南道 (2006年6月7日)	東アジア地域の著しい経済発展、韓国との関係の密接化を踏まえ、2006年から韓国の慶尚南道との交流を開始。 韓国では北海道に対する関心が高く、日本でも韓流ブームなど韓国への関心が高まっており、釜山港と北海道の4つの港が定期コンテナ船航路で結ばれているほか、2006年6月には金海空港と新千歳空港に直行便が開設されるなど、両地域の結びつきが強くなり、韓国における南の地域と日本における北の地域というそれぞれの地域の特徴を活かした交流を進めることにより、双方の活性化と発展につながるとの考えで合意。 2006年6月7日～9日、慶尚南道訪問団が北海道を訪れ交流趣意書に調印。	<p>■慶尚南道DAY(2020年7月)</p> <p>慶尚南道との友好提携日を記念し、交流の概要や慶尚南道の紹介に関するパネル展を開催。慶尚南道について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPRした。</p>
	ソウル特別市 (2010年10月15日)	日本との交流拡大のため、新たな交流先を検討していたところ、独特の気候、風土を有し、優れた自然環境が保全されている北海道が候補に挙がり、2010年、双方の副知事・副市長が相互に訪問するなど、友好提携締結に向けて協議を開始。 同年5月には、ソウル市からの招へいにより多文化友好イベントである「ソウルフレンドシップフェア」に北海道から公演団を派遣。 こうした交流の盛り上がりを受けて、2010年10月14日～16日、北海道知事をはじめとする訪問団がソウル特別市を訪れ、友好交流協定書に調印。	<p>■友好提携10周年記念メッセージ交流事業(2020年10月)</p> <p>ソウル特別市との友好提携10周年を記念し、北海道千歳高等学校で韓国語を学ぶ生徒に、新型コロナウイルス対策に取り組むソウル市民への応援や、ソウルに対する関心や想いなどのメッセージを書いてもらうとともに、国際交流員がソウルを紹介するセミナーを実施し、更なる交流促進を図った。</p> <p>■ソウルDAY(2020年10月)</p> <p>ソウル特別市との友好提携日を記念し、交流の概要やソウル特別市の紹介に関するパネル展を開催。また、北海道千歳高等学校の生徒がソウル市民に対して書いたメッセージ作品も合わせて展示。ソウル特別市について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPRした。</p> <p>■友好提携10周年記念「友好図書」交流事業</p> <p>【図書の寄贈(2020年12月)】</p> <p>ソウル特別市との友好提携10周年を記念し、お互いの地域に関する図書を「友好図書」として相互に寄贈する事業を実施。</p> <p>【寄贈式の実施(2021年3月)】</p> <p>道国際課・道立図書館側とソウル特別市・図書館側との間でオンラインで「友好図書」寄贈式を実施し、図書を通じての更なる交流促進を再確認した。</p>
	済州特別自治道 (2016年1月12日)	2012年4月、北海道知事と済州特別自治道知事が初めて会談し、交流を深めていくことを確認。2013年7月、再び両知事の会談が行われ、友好提携を進めることについて合意。 2016年1月11日～13日、北海道知事をはじめとする訪問団が済州特別自治道を訪れ、友好協力協定書に調印。	<p>■「済州国際青少年フォーラム」参加(2020年11月)</p> <p>オンラインで開催されたグローバル・リーダー育成を目的とした青少年フォーラムに北海道から高校生4名が参加。</p> <p>■済州DAY(2021年3月)</p> <p>チ・カ・ホで開催された「北海道国際交流フェア」会場内において、済州の概要や交流内容を紹介するパネル展を実施。済州について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPRした。</p>

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2020年度事業内容 (道国際課所管事業)
タイ	チェンマイ県 (2013年2月26日)	<p>2012年10月のバンコク-新千歳間の定期便の就航により、タイ王国と北海道の往来が活発化する中、自治体間交流を検討していたところ、駐日タイ王国大使から、ともに国の北部に位置し、観光や農業などが発展していることなどの共通点を有するチェンマイ県が推薦され、これをきっかけに交流を開始。</p> <p>2013年2月26日、チェンマイ県知事をはじめとする訪問団が来道し、知事公館にて友好関係協定書の調印がなされた。</p>	<p><b>■友好交流に係るメッセージ動画の製作(2021年2月)</b> 道国際課の企画により、株式会社コンサドーレの協力を得て、サッカーJ1・北海道コンサドーレ札幌に所属するチャナティップ選手(タイ王国出身)からの北海道とチェンマイ県との友好交流に係るメッセージ動画を製作した。 動画はタイ語音声・日本語字幕付きであり、「チェンマイDAY」会場で上映するとともに、YouTubeの道庁公式チャンネルでも公開し、道民及びチェンマイ県民に対して友好提携の周知を行った。</p> <p><b>■チェンマイDAY(2021年2月)</b> タイ王国チェンマイ県との友好提携を記念し、紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデンにおいて、チェンマイ県の概要や友好交流の紹介を行うパネル展示「チェンマイDAY」を開催した。 両地域間のさらなる交流促進に向けて、初めて道庁本庁舎外で実施し、北海道コンサドーレ札幌のチェンマイでの交流も紹介するとともに、チャナティップ選手からのメッセージ動画も上映して、より多くの道民に対して友好提携の周知を行った。</p>
カナダ	アルバータ州 (1980年9月5日、 エドモントン 1980年10月17日、 札幌)	<p>積雪寒冷など北海道と気候風土の類似するカナダ、アメリカ北部、中国東北部、ソ連極東・シベリアなどの北方圏地域と生活、文化、学術、スポーツ、産業経済など各般の交流を通じて、相互の地域の発展を図ろうとする「北方圏構想」が1971年から道の重要施策として位置付けられた。</p> <p>以来、これらの地域との交流を通じて、各地域の優れた英知や経験を学び、北国の風土にふさわしい豊かな道民生活を築くため、北方圏交流を進めている。1972年9月に知事を団長とし、道内各界代表から成る「訪カナダ、アラスカ経済・文化視察団」がアルバータ州を訪問した際、本道とアルバータ州の交流を進めることで合意し、その後、各分野における活発な交流が始められた。</p> <p>特に、北海道の提唱で1974年9月に札幌市で開催された北方圏環境会議の第2回会議が1979年9月アルバータ州で開催されることにより、それまで以上に強い絆で結ばれ、姉妹提携の気運が盛り上がった。以上のような経緯のもと、姉妹提携調印式を1980年9月5日エドモントン市で、同年10月7日札幌市で行った。</p>	<p><b>■姉妹提携40周年記念調印式 議会交流(2021年3月)</b> 北海道議会とアルバータ州議会が、両議会の交流に関する合意書調印式をオンラインにより実施。</p> <p><b>■姉妹提携40周年記念巡回パネル展(2020年10月～2021年2月)</b> アルバータ州と姉妹提携している市町村及びロイヤル・アルバータ博物館と友好館提携している北海道博物館のご協力のもと、道内6か所を巡回するパネル展を実施。</p> <p><b>■北海道国際交流フェア(2021年3月)</b> 札幌駅前通地下歩行空間において、アルバータ州についてのパネル展示や動画を放映し、情報発信を実施。</p>

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2020年度事業内容 (道国際課所管事業)
アメリカ	マサチューセッツ州 (1990年2月7日)	<p>本道の開拓初期、アメリカをはじめとする諸外国から様々な技術を吸収するため、多くの専門家が北海道に招かれた。その中にはケブロン米国農務長官、札幌農学校(現北海道大学)の初代教頭クラーク博士など、マサチューセッツ州出身者がおり、北海道発展の基盤づくりに大きく貢献。道民の心にその存在を深く刻み込んだ。</p> <p>1968年、130名の青年訪問団がマサチューセッツ州を訪問。以後、青年と女性の同州への派遣が継続的に実施されるようになった。</p> <p>1985年3月、マサチューセッツ州知事夫人(当時)の北海道訪問の際に、姉妹提携の申し入れがあり、1987年3月、マサチューセッツ州側の民間交流促進団体として「マサチューセッツ・北海道姉妹提携委員会」が発足。</p> <p>1987年10月、州政府からの招待を受け、北海道知事がマサチューセッツ州を訪問し、州知事と姉妹提携に関する覚書を締結。</p> <p>1988年1月、北海道大学学長(当時)等の呼びかけにより、「北海道・マサチューセッツ州交流委員会」が設立。</p> <p>1988年1月、「友好の翼」により約220名の道民がマサチューセッツ州を訪問。</p> <p>こうした両地域間の交流拡大を踏まえ、1990年2月7日、札幌市にて姉妹提携議定書を調印。</p> <p>これを受け、北海道側では北海道・マサチューセッツ協会が、マサチューセッツ州側ではマサチューセッツ・北海道姉妹交流協会が、民間の交流推進母体として設立。</p>	<p>■姉妹提携30周年記念事業レター交流事業(2020年9月～12月) 道内の小中学校7校で派遣授業を実施し、マサチューセッツ州の小中学生とレター交換を実施。</p> <p>■北海道国際交流フェア(2021年3月) 札幌駅前通地下歩行空間において、マサチューセッツ州についてのパネル展示や動画を放映し、情報発信を実施。</p>
	ハワイ州 (2017年5月8日)	<p>2012年の直行便の就航を契機に、北海道とハワイ州は交流が進み、2014年1月、友好締結を視野に入れた相互協力等に関する覚書を締結。</p> <p>2016年10月、副知事が知事の親書をもってハワイ州を訪問した際、2017年5月の友好提携締結の意向が示される。</p> <p>2017年5月8日、知事をはじめとする北海道訪問団140名がハワイ州を訪問し、北海道とハワイ州との友好提携を締結。</p>	<p>■北海道国際交流フェア(2021年3月) 札幌駅前通地下歩行空間において、ハワイ州についてのパネル展示や動画を放映し、情報発信を実施。</p>

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2020年度事業内容 (道国際課所管事業)
ロシア	サハリン州 (1998年11月22日)	<p>1995年9月「北方圏フォーラム」第2回総会のため来道したサハリン州ファルフトジノフ知事が堀北海道知事を表敬訪問した際、両地域の姉妹提携についての申し入れがあった。</p> <p>1997年9月、北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会第5回定例会議に出席するため、堀知事が初めてサハリン州を訪問した際、ファルフトジノフ知事と会議を行ない、「友好・経済協力に関する提携」に向けた取り組みに着手することなどを盛り込んだ共同声明に調印した。</p> <p>この共同声明を受けて、1998年1月、北海道側において市長村や民間団体の実務者による提携検討会が発足し、幅広い意見を取り入れながら、提携に向けた準備を進めた。</p> <p>1998年5月、サハリン州において知事定期会談が行なわれ、提携に関して、次回の知事会談において提携調印の具体的な日時などを含む覚書を取り交わすことで合意、同年8月、北海道において開催された知事会談において、年内に提携調印が実現するよう、全力を尽くすことなどを合意した覚書が調印された。</p>	<p>■<b>新型コロナウイルス感染症克服に向けた応援メッセージ交換(2020年6月～2021年3月)</b> 新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延を踏まえ、ロシアに友好提携地域を有する道内自治体(5市町)と連携して、両地域の子供たちによるコロナ克服に向けた応援メッセージなどの交換事業を実施した。</p> <p>■<b>「北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会」第23回定例会議(2020年10月)</b> web形式により、サハリン州のザイツェフ副首相を代表とするロシア極東地域代表団との間で、「北海道とロシア極東地域との地域間協力発展プログラム」に基づく交流事業の進捗状況報告や、コロナ禍を踏まえた今後の交流事業などについて意見交換した。</p> <p>■<b>「第21回日本語スピーチコンテスト」(2020年11月)</b> サハリン州における日本語学習者の学習意欲を向上させるとともに、北海道への関心を高め、両地域の交流を担う人材の育成を図るため、ユジノサハリンスク市で開催した。</p> <p>■<b>「第52回ロシア語弁論大会」開催(2020年11月)</b> ロシア語学習の普及を通じ、ロシアの文化・社会に対する理解を深め、市民レベルの友好交流の促進を図るため、web形式で開催した。</p> <p>■<b>「北海道フェア」開催(2020年12月)</b> 北海道のヘルスケア産業関連商品・技術のPR、販売のため、ユジノサハリンスク市で開催した。</p> <p>■<b>サハリンDAY(2021年3月)</b> サハリン州との友好・経済協力提携を記念し、札幌駅前通地下歩行空間においてサハリン州との交流などに関するパネル展を実施した。</p>